国際規制物資の使用等に関する規則第7条第29項の運用について(訓令)(案)に対する意見募集の結果について

令和3年2月10日
原子力規制委員会

1. 概要

国際規制物資の使用等に関する規則第7条第29項の運用について(訓令)(案)について、意見募集を実施しました。

期 間：令和2年12月17日から令和3年1月15日まで(30日間)

対 象：国際規制物資の使用等に関する規則第7条第29項の運用について
(訓令)(案)

方 法：電子政府の総合窓口(e-Gov)、郵送、FAX

2. 意見募集の結果

御意見数：5件(御意見数は、総務省が実施する行政手続法の施行状況調査において指定された算出方法に基づくもので、別紙の御意見の合計数とは一致しない。)

御意見に対する考え方：別紙のとおり

以上

御意見に対する考え方

別紙

国際規制物資の使用等に関する規則第7条第29項の運用について（訓令）の制定（案）に関するもの

番号	提出意見	考え方
1	<p>〈該当箇所〉 別添1頁12行目？13行目（I 運用の基本的な考え方第2項）</p> <p>〈内容〉直ちに求められている報告の内容に「推定される原因」が含まれているが、事象発見時、即座に原因を推定して報告することは実運用上困難であることから直ちに報告が必要な内容から「推定される原因」を削除いただきたい。</p>	<p>事象を発見した際の状況を踏まえ、可能な範囲で原因を推定して記載していただければ問題ありません。よって原案のとおりとします。</p>
2	<p>訓令の制定（案）について意見を申し上げます。封印の用途については、原子炉等規制法第六十八条第10項？13項に記載されているとおり、国際規制物資その他の物の移動を監視するためのものと解しております。しかしながら、保障措置目的ではあるものの、この法令の目的とは異なり、効率化や機能維持等の目的で使用している封印も実際あると承知しています。そういった場合も、この法令の範疇と解することができるのかどうか、見解をお示しいただき存じます。</p> <p>今般お示しいただいている委員会規則改正案及び運用（訓令）の制定（案）において、法令の範疇以外と解される場合は、紙製封印と同様、委員会規則（改訂案）に基づくき損時の報告の対象から除外していただきたく、意見申し上げます。</p>	<p>保障措置活動において取り付けられる封印及び監視装置は、検認活動の効率化や監視装置の機能維持、国際規制物資その他の物の封じ込め等の目的であっても、原子力の平和利用を担保するために国際規制物資その他の物の移動の監視の目的を有しています。このため、一時的かつ簡易的に用いられる紙製の封印を除くすべての封印又は監視装置の取り外し又は毀損は、この法令の定める報告の対象となります。</p>
3	<p>ローマ数字1の1. の4行目「工場又は事業所内に」は「核燃料物質計量管理区域内に」のほうが良いと思います。</p>	<p>工場又は事業所内のうち、核燃料物質計量管理区域内以外の場所で核燃料物質の事故損失が起こる場合も想定されますので、原案のとおりとします。</p>

4	ローマ数字1の1. の5行目の「時点」と7行目の「時点」のふたつの時点をそれぞれどのような場合に適用するのかについての記載が漏れていると思います。	御指摘を踏まえ、「事故損失に関する場合は核燃料物質が工場又は事業所に搬入された時点、封印若しくは装置に関する場合は法第61条の8の2第2項第4号若しくは法第68条第10項から第13項までの規定に基づく国際規制物資その他の物の移動を監視するために必要な封印がされ、若しくは装置が取り付けられた時点、からそれぞれ適用される。」に修正します。
5	ローマ数字1の1. の6行目「封印」は「封印がされ」としたほうが良いと思います。法第68条第13項に「封印をし」と規定されているから。	御指摘を踏まえて「封印がされ」に修正します。
6	ローマ数字1の1. の6行目「国際規制物資の移動」は「国際規制物資その他の物の移動」としたほうが良いと思います。法第68条第13項の規定のとおり。	御指摘を踏まえて「国際規制物資その他の物の移動」に修正します。
7	ローマ数字1の1. の7行目の「時点」について： 規則第9条に基づく通報を受けて法第68条第10項の封印等については被規制者は知り得るが、法第61条の8の2第2項第4号、法第68条第11項、同第13項の封印等についてはどのようにして知り得るのか？	国際原子力機関（以下「IAEA」という。）から封印等を取り付けるという事前の通報が無い場合であっても、IAEA又は原子力規制委員会により封印がされる時及び装置が取り付けられる時には事業者が立ち会いますので、その際に知ることができます。
8	ローマ数字1の2. の4行目「とともに原子力規制委員会に報告する」、9行目「当該報告の内容」は削除したほうが良いと思います。 同1. の4行目に記載のとおり「報告」は原子力規制委員会へのものだから。	Iの2. の4行目の「とともに原子力規制委員会に報告する」にある「報告」は、原子力規制庁が原子力規制委員会に行う報告である一方、9行目の「当該報告」は、国際規制物資を使用している者が、30日以内にしなければいけない報告であるため、「当該報告の内容」を「国際規制物資を使用している者からあった報告の内容」に修正します。
9	ローマ数字3の1. の2行目「国際規制物資を使用している者が管理する責任を有する」について： 一義的に管理する責任を有するのは「原子力規制委員会、IAEA」ではないのか？	核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律（以下「原子炉等規制法」という。）では、工場又は事業所その他の場所内においてIAEA又は原子力規制委員会によりされた封印（紙製のものを除く。）及び取り付けられた装置の健全性確保のための管理責任については、国際規制物資を使用している者に課しているため、国際規制物資を使用している者が責任を持って管理していただく必要があります。
10	ローマ数字3の2. の丸数字1の1行目「封印又は監視装置の取付け」は「封印をすること又は装置の取付け」としたほうが良いと思います。枠内の記載にあわせて。	原子炉等規制法では、第68条第10項などにおいて、「国際規制物資の移動を監視するために必要な封印をさせ、又は装置を取り付けさせることができる」という条文があるため、御指摘も踏まえて、「封印をすること又は監視装置の取付け」に修正します。

11	ローマ数字3の2. の丸数字1の10行目「受け付ける。」は「受け付けることとする。」としたほうが良いと思います。委員会が規制庁に要求しているものであるから。	御指摘を踏まえて「受け付けることとする。」に修正します。
12	ローマ数字3の3. の1行目「取り付けた封印又は監視装置」は「した封印又は取り付けた装置」のほうが良いと思います。枠内の記載にあわせて。	原子炉等規制法では、第68条第10項などにおいて、「国際規制物資の移動を監視するために必要な封印をさせ、又は装置を取り付けさせることができる」という条文があるため、御指摘も踏まえて、「した封印又は取り付けた監視装置」に修正します。
13	4ページの「監視装置」、「監視カメラ」は「装置」のほうが良いと思います。3ページの枠内の記載にあわせて。	原子炉等規制法では、第68条第10項などにおいて、「国際規制物資の移動を監視するために必要な封印をさせ、又は装置を取り付けさせることができる」という条文があり、本訓令においては、監視するために必要な装置を略して「監視装置」としているものです。また、「監視カメラ」は、「装置」の具体例を示すものであるため、原案のとおりとします。
14	4ページの縦の矢印線に付記された「いいえ（注4）」は横の矢印線に付記したほうが良いと思います。	御指摘を踏まえて横の矢印線に付記します。
15	4ページの注3の1行目「委員会が」は「委員会の職員が」のほうが良いと思います。法第61条の8の2第2項に装置の取付けは職員が行う旨が規定されているから。	原子炉等規制法第61条の8の2第2項の規定に基づき、「原子力規制委員会の指定する職員が」に修正します。
16	4ページの注3の5行目「幅広く」は何を意味しているのか？ 規則案の「直ちに報告」に対応するために24時間365日相談を受け付けるということか？	正当な理由の有無について、国際規制物資を使用している者が判断に迷うこともあるので、本訓令に例示しているものに限らず種々の事情について相談を受け付けるという意味です。
17	<p><該当箇所></p> <p>・別添 3頁 封印毀損等に関する報告について 2. 解釈</p> <p><内容></p> <p>・法令に基づく報告は、核物質の封じ込め／監視に直接影響を与える事案についてのみを対象とするなど配慮いただき、解釈に「バックアップや多重化されているものは除く」等を追記いただきたい。</p>	バックアップ等でされている封印も、国際規制物質その他の物の移動の監視の目的のために実施しています。このため、一時的かつ簡易的に用いられる紙製の封印を除くすべての封印又は監視装置の取り外し又は毀損は、この法令の定める報告の対象となります。
18	<p><該当箇所></p> <p>・別添 3頁 封印毀損等に関する報告について 2. 解釈</p> <p><内容></p> <p>・封印及び監視装置の毀損については判断が難しいことから、解釈に毀損とは「外観から明らかに毀損を判断できる場合」等追記いただ</p>	<p>御指摘を踏まえⅢ 1. 目的における「正当な理由なく取り外され又は毀損されていること」の直後にカッコ書きで「外観から明らかに判断できる場合に限る。」と追記するとともに、Ⅲ 3. 運用上の留意点の注釈（注1）にも追記します。</p> <p>なお、外観から明らかに取り外し又は毀損と判断できる場合の例は以下のとおりです。下記の例もⅢ 3. 運用上の留意点の注釈に追</p>

	<p>きたい。</p>	<p>記します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 封印のワイヤーが切れている又は切れかかっていることが確認された場合 ・ 監視カメラのへこみやガラスの破損等の外部損傷が確認された場合 ・ 監視カメラの架台の損傷等により、監視カメラが適切に設置されていないことが確認された場合 <p>また、報告対象をより明確化するため、Ⅲ 2. 解釈①における「取り外し若しくは毀損の原因が自然現象などの不可抗力であり」は、「自然現象などにより外れ又は毀損されたもののうち、国際規制物資を使用している者が事前に適切な対策により防止することが困難である場合といった、」とします。Ⅲ 3. 運用上の留意点の注釈の記載も同様にします。</p> <p>判断に迷う場合には原子力規制庁までお問い合わせください。</p>
19	<p>コメント対象箇所：1 運用の基本的な考え方 （前略）法第 61 条の 8 の 2 第 2 項第 4 号若しくは法第 68 条第 10 項から第 13 項までの規定に基づく国際規制物資の移動を監視するために必要な封印若しくは装置が取り付けられた時点から適用される。</p> <p>コメント：国際規制物資の移動を監視するため「以外」の封印は適用対象外でよいか確認したい（例：施設の設計情報や標準分銅を収めたキャビネットに取り付けられた封印）。</p> <p>コメント背景：法第 68 条第 11 項・第 13 項では「国際規制物資その他の物の移動を？」と記載があるため、上記の例のような封印のき損も改正後の報告対象と思われる。一方で、訓令の記載では、国規物の移動に限定された記載となっているため、確認したい。</p>	<p>封印は全て国際規制物資その他の物の移動の監視の目的で用いられています。よって、一時的かつ簡易的に用いられる紙製の封印を除き、施設の設計情報や標準分銅を収めたキャビネットに取り付けられた封印を含め全ての封印が対象となります。なお、訓令における表現を適切にするために、Ⅰにおける「国際規制物資の移動を監視する」を「国際規制物資その他の物の移動を監視する」に、Ⅲにおける「事業所等」を「工場又は事業所内」に修正します。</p>